

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403014

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	2 交通安全対策の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町交通安全推進委員会補助事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	#N/A	
事業指標	交通人身事故発生件数		#N/A	
事業目標	0件	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武町交通安全推進委員会補助 雄武町の交通安全に係わる住民の育成並びに、幼児、児童、高齢者への交通安全思想の高揚を図るため普及、啓蒙を推進することにより交通安全に寄与する。	雄武町交通安全推進委員会補助	雄武町交通安全推進委員会補助	雄武町交通安全推進委員会補助 ※児童用ヘルメット購入・貸与(216個)	雄武町交通安全推進委員会補助 ※新入学児童分ヘルメット購入(30個)	雄武町交通安全推進委員会補助 ※新入学児童分ヘルメット購入(40個)	
	事業費(千円)	3,110	370	370	1,294	538	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,110	370	370	1,294	538	538	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,035	370	370	1,290	505	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	3,035	370	370	1,290	505	500	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。 (20年人身事故件数5件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。 (21年人身事故件数8件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(22年人身事故件数4件) また、町内の小学生に自転車用ヘルメットを配布した。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(23年人身事故件数4件) また、町内の小学生に自転車用ヘルメットを配布した。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(24年人身事故件数8件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		年度達成率	100%	100%	100%	94%	93%
		全体達成率	12%	24%	65%	82%	98%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	

事業名 雄武町交通安全推進委員会補助事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
	評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	人身事故発生件数								
【抱える課題やニーズは】	人身事故や物損事故は減少傾向にあるものの、依然として発生している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	交通事故発生件数のさらなる減少を図るため、各事業所等の組織による交通安全啓発活動の推進。	①	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>0件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>8件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	0件	実績値	8件	達成度	#DIV/0! %
目標年度	平成24年度										
目標値	0件										
実績値	8件										
達成度	#DIV/0! %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	交通人身事故のない町を実現するために交通安全啓発活動の推進。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	交通事故の無い町を実現するため、全町挙げての交通安全への取り組みが必要とされているが、当委員会はその中心となる団体であることから、安定した組織運営のため本事業は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	新入学児童への自転車用ヘルメットの支給や各種街頭啓発事業の実施により、交通事故の抑制と町民の交通安全意識の向上が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	関係諸団体や警察と連携して事業を実施することで事業費抑制と人員の有効活用に努めており、効率的な事業展開が行われている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

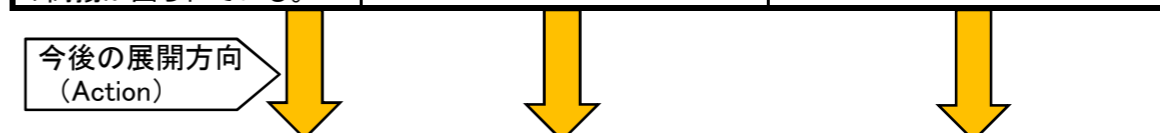
公平	判断の理由	町民全体の交通安全を目標として活動していることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
昨年に引き続き死亡交通事故が発生したため、警察署や各関係機関の協力により、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした各種啓発活動を推進した結果、町民の交通安全に対する意識の高揚が図られている。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
交通事故の無い町を実現するため、継続して交通安全推進事業を推進する。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止